

「部活動の地域展開に関する総合的なガイドライン」の概要（主な内容）

改革の理念

- ・将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実
- ・すべての生徒が希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備
- ・学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、地域全体で支えることによる新たな価値を創出

改革期間

改革期間（前期）令和８年度～１０年度 ＊令和８年８月より休日 完全展開
（後期）令和１１年度～１３年度

平日は各種課題を解決しつつ更なる改革を推進
※前期の課題への対応策を検証し、方針策定

認定制度

競技力向上を主目的としたチーム・スクールとの区別、国が示す要件等に基づいた新たな認定制度（有効期間は３年間）

【クラブ呼称】 「認定地域クラブ」 ※「民間クラブ」or「民間地域クラブ」…認定地域クラブ以外

【認定の効果】

- ①生徒・保護者への情報提供
- ②運営面、経済的困窮世帯等への公的支援（財政支援、学校施設の優先利用、使用料減免、参加料）
- ③兼職兼業教職員の積極的参加
- ④認定地域クラブとしての大会参加

【認定要件】

- ・参加者の選抜等の不実施（市内在住の中学生、各クラブの方針により隣接市町村からの受け入れ可）
- ・各活動時間（平日１日２h、休日１日３h程度） ・休養日（週２日以上、休日は土日のどちらか）
- ・低廉な参加費 ・不適切行為の防止徹底 ・安全確保 ・学校との連携（大会への参加状況等の報告）

推進の対応

【推進体制】 教育委員会（管理監督） 各種目連盟、協会（運営団体） 認定地域クラブ（実施主体）

【課題への対応】 指導者の確保・育成（指導者育成プログラム、人材バンクの設置）

活動場所の確保（使用料の減免、保護者送迎で集まりやすい場所の確保）

生徒の安全・安心の確保

（安全管理マニュアル見直しや徹底、連絡体制のさらなる整備、不適切行為の防止、相談窓口、活動場所への移動、熱中症対策、クマ対策、スポーツ安全保険への加入状況確認）

障がいのある生徒の活動機会の確保

関連制度の見直し